

## 主要輸出国の 2023 年生乳生産量は前年から横ばい

### 欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2024 年 3 月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の経済委員会 3 月会合がビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(\*1)では、EU の牛乳乳製品市場の近況として、①生乳生産量は 2023 年 8 月以降減少していること、②生乳取引価格は 2023 年 9 月以降上昇していること、③生活費の上昇によって有機の牛乳乳製品の購入が減少していることなどを報告している。また、世界の主要輸出国・地域における 2023 年の生乳生産量は、下半期の低迷により、前年から横ばいとなったことを報告している。EU では全般的な地合いはここ数ヶ月のうちに改善したが、需要回復の力強さや地政学的な不安定要因をめぐる疑念があるため、市場は明確な方向性を欠いているとしている。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った。)

MMO 経済委員会の第 49 回会合は、2024 年 3 月 19 日に、以下のミルクサプライチェーンを構成する組織の専門家が参加してビデオ会議で開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会:生産者を代表)
- ECVC(ビア・カンパシーナの欧州組織)
- CEJA(欧州青年農業者協議会)
- EDA(欧州乳業協会:乳業者を代表)
- Eucolait(欧州乳製品輸出入・販売業者連合:乳製品貿易を代表)
- Eurocommerce(欧州商工会:小売業を代表)

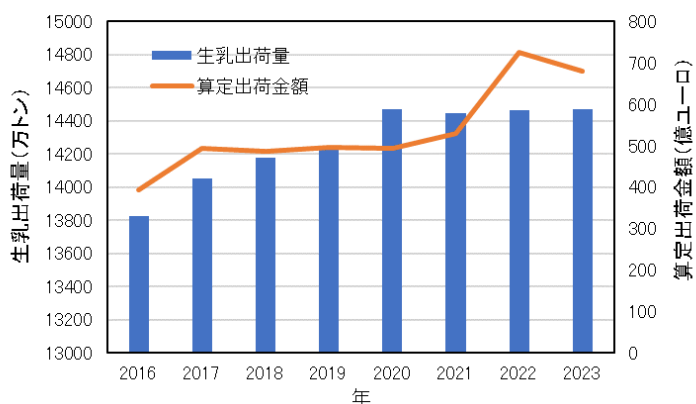
会合でのプレゼンテーションと情報交換では、次の点が強調された。

#### EU の生乳生産量は 2023 年 8 月以降減少

EU の牛の生乳出荷量は 2023 年 8 月以降減少している。2023 年 1~12 月の生産量は、2022 年の生産量より 0.1%増加した。2024 年 1 月の生乳出荷量は 1.3%減少し、アイルランド、オランダ、ドイツ、フランス、スペイン、イタリアなど 15 か国の EU 加盟国は生乳出荷量の減少を報告した。バルト諸国と EU 東部では、

生乳出荷量は増加している。2023 年の EU の生乳生産の算定出荷金額は、2022 年に比べて 6%減少したが、2021 年に比べると 2.8%増加した(図 1)。

図1:EUの1~12月の生乳出荷量と算定出荷金額



ルクセンブルクの数値は非公開のため、含まれていない。

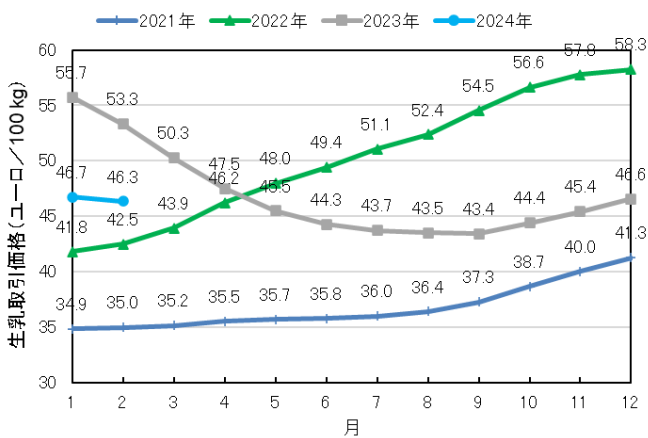
出典: MMO economic board meeting report - 19 March 2024 (\*1)を基に Jミルク作成

EU の脱脂粉乳の生産量は 2023 年に 4.9%減少したが、その他の乳製品の生産量は、全粉乳(+3%)、バター(+2.2%)、チーズ(+1.5%)、濃縮乳(+6.7%)、飲料乳(+0.3%)、発酵乳(+1.8%)、クリーム(+3%)が増加した。

## EU の生乳取引価格は 2023 年 9 月以降上昇

EU の平均庭先(牧場出荷)乳価は、2023 年 9 月以降改善している。2024 年 1 月にはさらに 0.3% 上昇し、46.7 ユーロセント/キロとなった。乳価は 1 年前に比べると 16% 下落したものの、この 5 年間の平均を 15% 上回っている。(図 2)。

図2: 生乳取引価格(EU加盟国平均)



2024 年 2 月は推定価格

出典: EU historical prices. Milk Market Observatory.

2024 年 1 月に集荷された生乳の 3.7% が有機であり、その 77% は 4 か国の EU 加盟国(ドイツ、フランス、デンマーク、オーストリア)で生産された。EU の有機生乳の平均価格は、1

キロ当たり 53.6 セント(2023 年 12 月並み)であった。

飼料コスト(穀物、菜種粕、大豆粕の混合物に基づく)は過去 6 ヶ月間安定しており、2022 年 4 月のピークより 36% 下落した。

## EU の平均乳製品価格は脱脂粉乳とホエイパウダーを除き前月に比べて上昇

EU の平均乳製品価格(2024 年 3 月 10 日)は、脱脂粉乳とホエイパウダーを除き、前月に比べて上昇した(表)。この 5 年間の平均と比較して、ホエイパウダーと脱脂粉乳の価格のみが低くなっている(それぞれ、-15%と-7%)。一方、バターの価格は高くなっている(1 年間平均と比べて+18%、5 年間平均と比べて+26%)。オセアニアは全粉乳、米国はチェダーと脱脂粉乳、EU はバターの輸出国として、最も価格競争力がある(図 3)。

供給(生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品量に基づく EU 在庫レベルの評価では、脱脂粉乳は 2023 年第 4 四半期の生産量の減少により、在庫は減少している。2023 年 12 月の脱脂粉乳在庫は、2022 年 12 月を下回り(-5 万トン)、2021 年 12 月と同水準だった。バター在

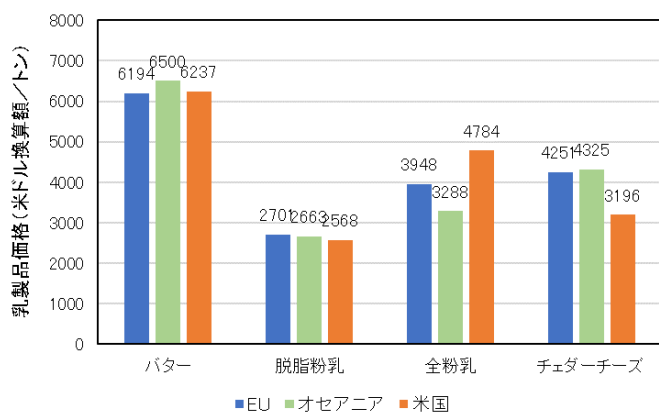
表: EU 加盟国の平均乳製品価格(2024 年 3 月 10 日)

	バター	脱脂粉乳	全粉乳	チーズ				ホエイパウダー
				チェダー	エダム	ゴーダ	エメンタール	
価格(ユーロ/100 キロ)	567	247	361	389	437	436	587	79
価格の比較(増減%)								
1 週間前	+0.6%	-1.7%	-1.2%	+0.2%	+0.8%	-0.2%	+0.1%	-4.6%
1 か月前	+4.9%	-0.7%	+0.1%	+7.6%	+1.1%	0.0%	+2.6%	-5.6%
2024 年初	+3%	-4%	-2%	+9%	+1%	0%	-4%	-8%
1 年前	+18%	-6%	+5%	-22%	0%	-8%	-7%	+3%
5 年間の平均	+26%	-7%	+5%	+7%	+21%	+18%	+15%	-15%

出典: MMO economic board meeting report - 19 March 2024 (\*1)を基に J ミルク作成

庫量は、国内および世界の需要が好調であったため、2022年12月を大幅に下回り(-5万トン)、2023年下半期に大幅に減少した。チーズの在庫量も同様に減少し、前年を下回っている(約30万トン)。

図3: 世界の乳製品相場(2024年3月17日)



出典: MMO economic board meeting report - 19 March 2024  
(\*1)を基にJミルク作成

### 世界の主要輸出国・地域の2023年の生乳生産量は、下半期の低迷により、前年から横ばい

2023年の主要輸出国・地域(オーストラリア、EU、米国、英国、ニュージーランド、アルゼンチン、ウルグアイ)の生乳出荷量は、下半期の低迷により横ばいだった。2023年の生産量は、オーストラリア(+0.2%)、ニュージーランド(+0.9%)、ウルグアイ(+1.2%)、EU(+0.1%)でわずかに増加した。

2023年、世界の乳製品輸出力は+0.2%とわずかに増加したが、これは主にチーズと脱脂粉乳の輸出の増加によるものである。3大輸出国(欧州、ニュージーランド、米国)が総輸出力の80%を占めている。EUとニュージーランドが、米国の世界輸出シェアを奪った。MENA(中東・北アフリカ地域の国々を指す略称: Middle East & North Africa)諸国、メキシコ、ブラジルの堅調な需要が、中国と東南アジア

の減少の大部分を補完した。しかし、多くの東南アジア諸国(タイ、ベトナム、マレーシア)の輸入は、最近改善している。2023年の世界のMENA向け輸出力は、5%増加した。中国の乳製品輸入量は、減少を続けている(2023年は-7%)。EU全体の輸出力は(2年間の減少の後)回復したが、2023年末にかけて減速した。粉乳については、EU製品はニュージーランドとのより激しい競争に直面している。英国、中国、アルジェリア、米国、インドネシア、マレーシア、日本、サウジアラビア、タイ、エジプトが、2023年のEU乳製品輸出力先の上位10か国であった(シェア56%)。

### 生活費の上昇によって有機の牛乳乳製品の購入が減少

生活費が上昇したため、消費者は有機の牛乳乳製品の購入を減らし、生鮮品から冷凍品に切り替えている。プライベートブランドが、市場シェアを獲得している。

### 市場は地合いが改善したが、方向性を欠く

欧州委員会は、短期的な市場動向に影響を与える可能性のある要因について、世界的な供給の減少、食料インフレの鈍化、生産コスト、農業気象条件、作物の見通し、世界的な需要などを上げている。

全般的な地合いはここ数ヶ月のうちに改善したが、需要回復の力強さや地政学的な不安定要因をめぐる疑念があるため、市場は明確な方向性を欠いている。EUの生乳取引価格は改善しているが、生乳生産量は減少を続けている。

### 参考資料:

- 1) <https://agriculture.ec.europa.eu/document/download/0f459a4c-ed87-4f25-b0e1->

[8786af6712cf\\_en?filename=mmo-](#)

[report-2024-3-19\\_en.pdf](#) MMO

economic board meeting report - 19

March 2024, European Commission.

(資料閲覧:2024年3月25日)

(担当:Jミルク 国際グループ 新光一郎)